

万が一に備えて軌道事故救助訓練を実施



立山砂防工事専用軌道(通称「トロッコ」)には工事関係者のほか、砂防事業の行政視察者、富山県・立山カルデラ砂防博物館が主催し、立山砂防事務所が協力して取り組む「立山カルデラ砂防体験学習会」などの一般見学者を含めて、約1万人が乗車しています。

そのため、軌道事故発生時の迅速な対応を図る目的として、体験学習列車が落石より人身事故が発生した事故救助訓練や情報伝達訓練を関係機関及び軌道関係受注者55名の参加で実施しました。

○実施日時

平成26年7月29日(火)10時00分~12時00分

○訓練場所

立山砂防事務所災害対策室及び工事専用軌道妙寿スイッチバック1号付近(立山砂防事務所の上流約6.6km付近)

○参加機関

立山砂防事務所、富山県砂防課、立山カルデラ砂防博物館、上市警察署、立山町消防本部、富山県防災航空センター、軌道運行管理受注者、軌道関係工事受注者



現地での実働訓練の様子



傷病者の応急措置



担架搬送リヤカーによる移動



モーターカーによる搬送



事故対策本部

防災ヘリ「とやま」による監視・救助活動が初参加